

## 東部地域 NPOと市町村との協働アイデア提案会 実施結果

日時 平成19年7月31日(火) 13時～16時30分  
場所 春日部市商工振興センター  
発表 7団体  
参加者 78名(NPO16、市町村45、一般6、県11)  
内容 プレゼンテーション・質疑(各12分)、コーディネーターの体験談(20分)、意見交換(40分) ※すべて全体会場で実施  
コーディネーター 川口市かわぐち民パートナーステーション 所長 鷺巣敏行氏

### 【意見交換より】

- ・行政について言えることは、職員と信頼関係ができたとしても異動してしまうため継続が難しいということ、行政職員は言い訳がうまいということである。立場があるから難しいのは分かるが、断るだけではなく、「今はダメだが、こういう手もある。」というふうと一緒に考える姿勢を持って欲しいと思う。
- ・プレゼンテーションで、何をどのようにしたいのかが伝え切れていない団体があった。また、行政への要望ではなく、「どのように協働したいのか」が分かるようなプレゼンテーションを工夫してほしい。



### 【コーディネーターのまとめ】

NPOと行政は、ミッションは同じでも、NPO活動者は思いやこだわりなどからくる「モチベーション」が活動のエネルギーであるが、行政職員は「仕事」として行動する。こうした両者の意識の違いから、互いの持ち味を活かすとともに、互いの限界もあることをしっかり理解する必要がある。

その上で、互いを知り、互いを認め合う、顔と顔の見える関係を創ることから、協働の第一歩が始まる。

### 【アンケート結果】

アンケート回収率 71.8% (56名回答)

- |            |             |       |
|------------|-------------|-------|
| ・プレゼンテーション | 参考・やや参考になった | 71.4% |
| ・意見交換      | 参考・やや参考になった | 69.6% |
| ・提案会の必要性   | 今後も必要である    | 71.4% |